



校長室から

甘利 尚之

令和4年1月11日(火) No.8

子どもたち一人ひとりを支える

～幼保小連絡会・「塩尻子どもはぐくみ隊」～



令和4年度の入学に向けた「幼保小連絡会」(塩尻小学校に入学する園児が在園する幼稚園、保育園の先生方と、入学する子どもたちについての引継ぎをする会。入学式に向けた準備のお願いもします)が12月23日(木)、塩尻小学校で行われました。全部で、11の園の先生方に来ていただき、園ごとの個々の懇談の形式で、現在塩尻小の学区に「住所」のある、塩尻小に入学予定の子どもたちの様子についてお聞きしました。子ども

たちが、義務教育9年間のスタート、第1歩を元気よく踏み出せるようにするためのものです。

また、入学当初は「スタートカリキュラム」とも呼ばれる特別な時間割を用意し、スムーズに小学校生活への移行が行われるようにするわけですが、園生活との大きな違いの一つとして、「自分の足で登校する」ということが挙げられます。昨今、登下校中の事故、不審者も様々報道される中で、保護者の皆さんにとっても「心配事」であるところです。

塩尻小には以前より、「塩尻子どもはぐくみ隊」という、登下校中の子どもたちの様子を見守っていただく組織がありましたが、確認が不十分な面がありましたので、本年度再確認、

及び、新規加入者の募集を行いました。見守りと言っても、散歩、庭仕事、農作業のついでに子どもたちの様子を見ていただく、声かけをしていただくというもので、無理せず、続けていただくことを考えています。協力していただける方には、左図のようなネームプレートをお預けし、「地域の子どもたちを見守る意思のある者」であることを明らかにしていただくようにします。

「地域の子どもは地域で育てる」という趣旨に賛同され、参加されている多くの地域の皆様には、初めての通学路に戸惑いながらも頑張っている1年生が、低学年の子どもたちを率いて通学するたくましい6年生となっていく様子を見届けていただければ、と思います。

子どもたち一人ひとりの育ちを支えて下さる多くの皆様に感謝です。

